

NISSAY OPERA 2018/ニッセイ名作シリーズ 2018  
モーツァルト作曲 オペラ『魔笛』(ドイツ語歌唱・日本語台詞)  
＜オーディション募集要項＞

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]では NISSAY OPERA / ニッセイ名作シリーズとして、2018年6月にモーツァルト作曲オペラ『魔笛』(指揮: 沼尻竜典、演出: 佐藤美晴、管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団)の上演を予定しています。公演を行うにあたり下記要領でオーディションを実施いたします。

◆オーディション実施日 **2017年3月6日(月)、7日(火)** (集合時間は応募締切後、各人に通知)

◆オーディション会場 日生劇場内施設予定

◆応募資格 大学または短期大学で声楽の専門教育を受けた方、或いはそれと同等の実力を持っている方で指揮者と協演できる歌手であること。

◆応募期間 **2017年1月10日(火)～1月13日(金)** (当日消印有効)

◆募集する役柄、課題曲【下記表記・ページ数はBärenreiter-Verlag版2007年ヴォーカルスコアに準ずる】

募集する役柄 : タミーノ、ザラストロ、パパゲーノ、弁者、モノスタートス、夜の女王、パミーナ、パパゲーナ、侍女Ⅰ、侍女Ⅱ、侍女Ⅲ、計11役(併願可)

- タミーノ ①P.10～12 2段目3小節、②P.32～35 (No.3 Aria)、  
③P.87 3段目2小節～P.91 終わりまで、④P.76～86 終わりまで
- ザラストロ ①P.106 2段目3小節～P.108まで、②P.152～153 (No.15 Aria)
- 弁者 ①P.78 4段目1小節～P.85 1段目1小節 (No.8 Finale)※Priester(Sprecher)レチタティーヴォ、②Joseph Haydn『天地創造』より第3部31番Adamのレチタティーヴォ” Nun ist die erste Pflicht erfüllt”  
第31曲 レチタティーヴォ「我らは創造主に感謝を捧げ」、③同第32曲 二重唱のうちAdamの出だしソロ部分” Holde Gattin, dir zur Seite” 「優しき妻よ、お前の傍らにあれば」
- パパゲーノ ①P.27～29 (No.2 Aria)、②P.70～71 4段目2小節、③P.171～173 (No.20 Aria)、④P.224～225 2段目5小節
- モノスタートス ① P.64～67、②P.142～143 (No.13 Aria)
- 夜の女王 ①P.36～42、②P.145～150 (No.14 Aria)
- パミーナ ①P.70～71 4段目2小節、②P.159～161 (No.17 Aria)、③P.185 2段目～196
- パパゲーナ ①P.224～231、②オペラ『魔弾の射手』より Ännchen No.7 (Peters版による)のアリエッタ  
“Kommt ein schlanker Bursh gegangen”
- 侍女Ⅰ ①P.12～23 2段目1小節、②オペラ『魔弾の射手』よりAgathe No.8 (Peters版による)のアリア後半  
Vivace con fuoco “All meine Pulse …” から最後まで
- 侍女Ⅱ ①P.12～23 2段目1小節、②J.S.Bach, Weihnachts-Oratorium, BWV 248, No. 39“Flösst, mein Heiland”  
("Echo-Arie")J.S.バッハ『クリスマス・オラトリオ』より「答えたまえ、わが救い主よ、汝の御名はそも」
- 侍女Ⅲ ①P.12～23 2段目1小節、②J.S.Bach, Matthäus-Passion, BWV244, No.47,  
Aria "Erbarme Dich, mein Gott", J.S.バッハ『マタイ受難曲』より「憐れみたまえ、わが神よ」

◆審査員 沼尻竜典(指揮者)、佐藤美晴(演出家)、天羽明恵(声楽家)、  
河野克典(声楽家・横浜国立大学教授)、高島勲(日生劇場芸術参与)の各氏

◆応募方法

申込書に必要事項を記入し、上記課題曲を原語(ドイツ語)で全て録音したCDとともに切手164円分(82円×2枚)を同封の上、下記迄ご郵送下さい。CD本体に応募役柄名、氏名を記入してください。事前に音源審査を行います。

※併願を希望する応募者は併願する役の課題曲も必ず録音してください。

◆郵送・問合せ先◆

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 日生劇場・企画制作部『魔笛』オーディション係  
TEL: 03-3503-3122 (月～金10:00-18:00、土・日・祝除く) FAX: 03-3581-3493

★オーディションについて

- ①2017年2月20日(月)までに、受験番号および当日の集合時間等を通知します。
- ②暗譜の必要はありません。会場に譜面台を設置します。
- ③課題曲とは別に、当日用意する日本語台詞を追加で課す可能性があります。
- ③ピアニストは劇場で手配しますが、受験者が同伴されてもかまいません。

★公演・稽古について

- ①ダブルキャスト制。本番出演回数に応じて出演料を支払います。チケットのノルマはありません。
- ②一般公演2回、中高生向け招待公演8回、計10回公演の他に7月～10月の間に全国で中高生向け招待公演を5回予定。  
※公演回数は全て現時点での予定です。
- ③日生劇場が指定した稽古日に全て出席することを原則とします。
- ④稽古は原則、東京都内で行います。
- ⑤東京公演における稽古および公演にかかる交通費・宿泊費は自己負担となります。
- ⑥2018年1月頃から個別で音楽稽古を開始。5月上旬より立ち稽古を開始する予定です。
- ⑦本番5週間前からは、本公演に専念していただきます。